

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

令和三年度十一月 入賞句一覧 投句数 七百七十三句



特選

長町 誠司 選

紅葉が期末テストとやってくる

加茂郡川辺町 嶺川 大智(中二)

期末テストは実技教科が加わります。主要五科目の勉強だけですまない為、一教科に割く時間が減ってしまいます。そんな大変なテストが紅葉の時期と重なるのでしよう。紅葉する木にとつて、葉を赤くすることは来年にむけての大切な準備。この句の作者にとつても大切な時期ですが、きつと計画的にテスト勉強していることでしょう。学校の行事と自然界の営みに着目し、擬人法を上手く使いました。

冬支たくねむったままの服を出す

大垣市 淵 徳玖(小六)

「寝る」と「眠る」の違いを作者はよく理解しています。この句も擬人法を上手く使っています。成功のポイントは、季語に合う適切な語句を用いたことです。「寝る」の対義語は「起きる」で「眠る」の対義語は「覚める」です。比較すると、感覚的に違いが解ります。季語でも冬眠(冬)山眠る(冬)と、三尺寝(夏)、朝寝(春)などと比較してみましよう。長い眠りから覚めた衣類は、生き生きと作者を引き立ててくれるはず。

弟が猫にへんしん猫じゃらし

大垣市 外花 瑠彩(小五)

上五と中七で読者に疑問をもたせ、下五で謎解きをするという俳句技法の一つを使い、小学生らしい視点で作ることができました。えっ？弟が猫に变身！。どういう事？と、読者に興味をもたせ、最後に猫じゃらしという季語を配置することで、猫じゃらしを使って仲良く遊ぶ兄弟の微笑ましい姿を想像することができました。

秀逸

満月が歩く人たちがめてる

加茂郡川辺町 藤井 結乃(中二)

塾帰りりんごを食べて夜空見る

加茂郡川辺町 安田 愛美(中二)

秋刀魚焼くきらいだけれどいいにおい

大垣市 小林 杏(小五)

おちばさん風におされてあつまつた

大垣市 林 未来也(小二)

ささの舟どこまでいくのついていく

大垣市 かわぞえ ちさき(小四)

寒雀重ねぎしすぎてふくらんだ

大垣市 田中 昭成(小六)

秋の水いろんな場所でさわったよ

大垣市 酒井 莓花(小五)

いわし雲いつも私を追っている

大垣市 神田 莉嘉(小六)

ひき出しのすみっこにはる赤い羽根

大垣市 小川 誠悟(小六)

一夜城天守から見る秋の川

大垣市 若田 紗奈(小六)

# 入選

秋の夜奇せきが起きた黄身が二個	大垣市	坂 こうた(小六)
飛騨川に紅葉が落ちて流れてく	加茂郡川辺町	田島 乃愛(中二)
ハードルを飛び越えながら秋の風	加茂郡川辺町	前川 慧伍(中二)
かき食べるオレンジ色の実を食べる	大垣市	長屋 蒼天(小四)
秋の風部屋のすきまに入りこむ	大垣市	深見 佳輔(小五)
えだまめや一つだけでも三個入り	大垣市	橋本 一輝(小五)
お年玉もらうまえからルルルル	大垣市	こんどう ゆめか(小二)
うんどう会かってもまけても楽しいね	大垣市	静 怜奈(小二)
コンバインのうしろカラスがついてくる	大垣市	岩田 拓士(小二)
ささぶねにもつを置いて流したよ	大垣市	吉國 友菜(小四)
どんぐりがぼうしなくしてなみだぐむ	大垣市	金森 恵世(小六)
空高く南天の実が育つてく	大垣市	川合 俐空(小六)
冬ばらがみだれさいた美術室	大垣市	松岡 愛心(小六)
ポーナスで大喜びする父の顔	大垣市	野呂 春翔(小六)
雪だるま願いかなえばかた目つける	大垣市	加納 都和子(小六)
ポーナスでふんぱつしたよ防寒着	大垣市	平林 大空(小六)
真夜中の虫が開いたコンサート	大垣市	橋爪 瞭(小六)
冬銀河あなたはとてもきれいです	大垣市	伊藤 陽一(小六)
水がわくはちまん神社秋の日に	大垣市	海野 結菜(小五)
五時半にまつくらになる秋が来た	大垣市	渡辺 一成(小六)

# 選者吟

息白く校長室に入りけり

せいじ



# 小中学生の部